

製造施設等変更明細書

1 製造の目的

種 類	製 氷	冷 蔵	冷 凍	冷房・暖房	化学用	試験・研究	その他
変更後の用途							

注) 変更後の用途欄に該当する目的を で囲むこと。

2 製造設備の種類

定 置 式	直 接 膨 張 式	() 段 圧 縮 式	往 復 動 式	水 冷 式	ユ ニ ッ ト 型
	間 接 式	() 元 冷 凍 式	回 転 式		
移 動 式 車 両 登 録 番 号 () 車 種 ()	ブ ラ イ ン ()	ヒ ー ト ホ ン プ 式	ス ク リ ュ ー 式	空 冷 式	非 ユ ニ ッ ト 型
			遠 心 式	蒸 発 式	
			吸 収 式		

注) 該当する項目を で囲み、該当する () に必要内容を記載すること。

3 既設設備の許可状況

昭 和 年 月 日、 第 号 新 規 許 可
平 成

昭 和 年 月 日、 第 号 最 終 変
平 成 更 許 可

注) 欄は該当する項目を で囲むこと。

4 一日の冷凍能力(今回の変更後)

合 計 トン/日

内 訳 明 細

既 設 トン 計算書は、
撤 去 トン に示す。
新 設 トン

5 変更の内容

6 製造設備の明細
 (変更の内容により必要項目を抜きだし、変更箇所を明示し記載してください。)

(1) 冷媒設備

型		式			
冷媒		ガスの種類			
基準凝縮		温度 ()			
許容圧力 (MPa)		高压部			
		低压部			
安全装置・ 自動制御 装置	安全吹弁 始圧力	圧縮機 (MPa)			
		高压部容器 (MPa)			
		低压部容器 (MPa)			
	溶栓溶融		温度 ()		
	高压遮断		装置 (MPa)		
	低压遮断		装置 (MPa)		
	油圧遮断		装置		
	過負荷保護		装置		
	凍結防止		装置		
	断水保護		装置		
	送風機連動		機構		
	過熱防止		装置		
備		考			

(2) 圧縮機 (発生器) の性能

型		式		
圧縮機		の性能		
気筒内		径 (mm)		
行程		(mm)		
気筒		数		
回転		数 (rpm)		
ピストン押し		のけ量 (m ³ / h)		
1日の冷凍		能力 (トン)		
原動機		定格出力 (KW)		
加熱量 (発生器)		(kcal / 日)		

製 造 所 名			
安全装置	安全弁	口 径 (mm)	
		材 料	
	高圧遮断装置 作動圧力 (MPa)	(1) に 記 載 の 通 り	
備 考			

(3) 高 圧 部 容 器

凝 縮 器	型 式				
	設 計 圧 力 (MPa)				
	外 径 × 長 さ (mm)				
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)				
	材 料 (胴 板 ・ 鏡 板 管 板)				
	鏡 板 、 管 板 の 形 状				
	製 造 所 名				
	安全装置	種 類			
		口 径 (mm)			
材 料					
備 考					
受 液 器	型 式				
	設 計 圧 力 (MPa)				
	外 径 × 長 さ (mm)				
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)				
	内 容 積 (ℓ)				
	鏡 板 の 形 状				
	材 料 (胴 板 ・ 鏡 板)				
	製 造 所 名				
	安全装置	種 類			
		口 径 (mm)			
		材 料			
	備 考				

油 分 離 器	型 式			
	設 計 圧 力 (MPa)			
	外 径 × 長 さ (mm)			
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)			
	内 容 積 (ℓ)			
	鏡 板 の 形 状			
	材 料 (胴板・鏡板)			
	製 造 所 名			
	安全装置	種 類		
		口 径 (mm)		
材 料				
備 考				
品 名	型 式			
	設 計 圧 力 (MPa)			
	外 径 × 長 さ (mm)			
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)			
	材 料 (胴板・鏡板 管板)			
	鏡 板 、 管 板 の 形 状			
	製 造 所 名			
	安全装置	種 類		
		口 径 (mm)		
		材 料		
備 考				

(4) 低 圧 部 容 器

品 名)	型 式			
	設 計 圧 力 (MPa)			
	外 径 × 長 さ (mm)			
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)			
	材 料 (胴板・鏡板 管板)			
	鏡 板 、 管 板 の 形 状			
	製 造 所 名			
	安全装置	種 類		
		口 径 (mm)		
材 料				
備 考				
品 名)	型 式			
	設 計 圧 力 (MPa)			
	外 径 × 長 さ (mm)			
	胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)			
	材 料 (胴板・鏡板 管板)			
	鏡 板 、 管 板 の 形 状			
	製 造 所 名			
	安全装置	種 類		
		口 径 (mm)		
材 料				
備 考				

(5) 配 管

区 分	設計圧力 (MPa)	設計温度 ()	材 料
高 圧 部		_____	
低 圧 部			

(6) 止め弁及び自動制御弁

区 分	型 式	設 計 圧 力 (M P a)	設 計 温 度 ()	口 径 (mm)	材 料	個 数
高圧部						
低圧部						

5 耐圧、気密等の性能

- (1) 材料試験等、耐圧試験及び気密試験証明書 別添
- (2) 冷凍用圧縮機耐圧試験及び気密試験証明書 別添
- (3) 機器試験合格証明書 別添

6 製造施設の位置及び付近の状況

別図 に示す。

7 製造施設の構造及び製造設備の配置

別図 に示す。

(該当する事項について、図中の番号を明記すること。)

特に図中に明示する事項	図中の番号	特に図中に明示する事項	図中の番号
引火性、発火性の物をたい積した場所		消 火 設 備	
火 気		除 害 設 備	
警 戒 標		ガス漏洩 検知警報 設備	検出端部
室の開口部			警報部
機械通風装置			

8 製造施設の状況

(変更の内容により必要事項を抜きだし、変更箇所を明示して記載してください。)

(1) 設置場所の火気等の状況

--

(2) 警戒標

表示事項	
------	--

(3) 漏えいしたガスが滞留しないような構造

区 分	開口部面積 (m ²)	換気能力 (m ³ /min)
開口部 の みの 場合		_____
開口部の不足部分を機械 通風装置で補う場合		
機械通風装置のみの場合	_____	

(4) 振動、衝撃、腐しよくにより冷媒ガスが漏えいしない構造

振動についての措置	
-----------	--

衝撃についての措置	
-----------	--

腐しよくについての措置	
-------------	--

(5) 耐震設計

凝 縮 器 (たて置円筒形で胴部の長さ 5 m 以上の場合)	無	
	有	計算書は別紙 [] に示す。
受 液 器 (内容積 5,000 ℓ 以上の場合)	無	
	有	計算書は別紙 [] に示す。

(6) 圧 力 計

区 分	取 付 箇 所	最高目盛 (M P a)	個 数
高 圧 部			
低 圧 部			
圧 縮 機 潤 滑 油			

(7) 受 液 器 の 液 面 計

液 面 計 の 種 類	
ガラス管液面計の破損防止措置	

(8) 消 火 設 備

消 火 設 備 の 種 類	能 力	数 量
消 火 器	能力単位 ()	薬剤重量 () kg × () 個
その他 ()		

(9) 防 液 堤

受液器の内容積 (ℓ)	
防液堤の容量 (ℓ)	

(10) 電 気 設 備 の 防 爆 性 能

電 気 設 備 の 種 類	防 爆 構 造 の 種 類	個 数

(11) ガス漏えい検知警報設備

区 分	設備群周囲の長さ (m)	設備群面積 (m ²)	検知部個数	警報設定値
屋 外				
屋 内		—————		

(12) 除 害 措 置

(ア) 拡散防止の方法と吸収の方法等

拡散防止措置		
除害設備の種類		
除害剤	種類	
	保有量	

(イ) 保護具の種類と設置数

保護具の種類	仕 様	個数	備 考
防 毒 マ ス ク			保管場所、保管方法、記録の管理等は、別に規定に定める。
空 気 呼 吸 器			
保護手袋及び保護長靴			
保 護 衣			

(13) バルブ等の基準

(ア) バルブ等には開閉方向を明示し配管には流体の種類及び流れの方向を明示する。

(イ) 保安上重大な影響を与えるバルブの措置

バルブの種類	個数	開閉状態の表示	流体の種類及び方向の表示	封印等の措置
安 全 弁				
安全弁の元弁				
緊急放出弁				
圧縮機の止め弁				
冷却水止め弁				
ライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

9 工事完成予定日

平成	年	月	日
----	---	---	---

10 工事施工業者

名	称		
所	在	地	
冷凍空調施設工事事業所認定番号			
電	話	番	号
担当者所属氏名			